

様式第 2 号（第 8 条関係）

審議会等会議録

会議の名称	令和 6 年度 第 1 回 加須市行政経営懇話会
開催日時	令和 6 年 8 月 2 3 日（金） 午後 3 時 4 5 分から午後 5 時 0 0 分まで
開催場所	加須市役所 本庁舎 5 階 5 0 4 会議室
議長氏名	石上 泰州会長
出席委員	石上 泰州会長、齋藤 清副会長 竹村 弘委員、石川 安則委員、荻野 秀俊委員 鈴木 良子委員、大内 紀美子委員、大島 さち子委員 柿沼 トミ子委員、下野 泰樹委員、鳥海 靖久委員 大河内 修治委員、眞中 紀委員、井坂 康志委員 植竹 公子委員、小熊 彩子委員 （1 6 名）
欠席委員	齋藤 勝行委員、前田 義克委員 （2 名）
会議次第	1 開会 2 委嘱 3 会長あいさつ 4 市長あいさつ 5 議 事 （1）副会長の選出について （2）第 3 次加須市行政経営プランの令和 5 年度取組結果について 6 閉 会
会議資料の名称	・ 次第 ・ 資料 1 加須市行政経営懇話会委員について ・ 資料 2 第 3 次加須市行政経営プラン 令和 5 年度取組結果 ・ 資料 3 第 3 次加須市行政経営プラン 令和 5 年度取組結果 評価（達成度）等一覧表 ・ 資料 4 進行管理調書に係る変更事項 ・ 資料 5 第 3 次加須市行政経営プラン 進行管理調書 （実施状況報告書）
会議の公開又は 非公開の別	公開

非公開の理由	
傍聴者の数	0人
説明者の職・氏名	総合政策部長 石井 幸子、政策調整課長 矢部 良貴 シティプロモーション課長 山崎 美幸 市民協働推進課長 内田 恵美、DX推進課長 小野田 準 職員課主幹 野原 久美子
事務局職員職・氏名	政策調整課長 矢部 良貴、同課主査 関根 徹 同課主査 古本 有里沙
会議録の作成方法	☒ 要点記録 ☐ 全文記録
その他必要な事項	

様式第 3 号（第 8 条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
事務局(関根主査)	1 開会
角田市長	2 委嘱
石上会長	3 会長あいさつ
角田市長	4 市長あいさつ
	5 議事
石上会長（議長）	（１）副会長の選出について 副会長の選出について事務局から説明をお願いします。
矢部政策調整課長	副会長をお引き受けいただいていた並木さんが、加須市自治協力団体連合会の役員の退任に伴い、本懇話会の委員も退任となったことから、新たに副会長を選出いただくものです。 なお、加須市行政経営懇話会設置要綱第 4 条第 2 項の規定により、委員の皆様のご互選によって決定することとなっております。
石上会長（議長）	互選ということで、副会長の選出について、何か意見等はございますか。
石上会長（議長）	委員の皆様からご意見がないようなので、事務局から案はございますか。
矢部政策調整課長	事務局としては、これまでも自治協力団体連合会の会長の職にある方をお願いしてきたという経緯がございますので、会長の齋藤委員をお願いしたいということで、ご提案申し上げます。
石上会長（議長）	これまでの慣例に従いまして齋藤委員に副会長をお願いしたいと存じますがいかがですか。
各委員	異議なし
石上会長（議長）	ありがとうございます。異議なしとのことで、皆様全員のご推挙に

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
齋藤副会長	より齋藤委員に副会長をお願いしたいと存じます。 早速ですが、齋藤副会長には、ご挨拶を頂戴できればと思います。 副会長あいさつ
石上会長（議長）	（２）第３次加須市行政経営プランの令和５年度取組結果について 本議題について、加須市行政経営懇話会設置要綱第２条によりますと、加須市行政経営本部の報告に対して、当懇話会の意見や提言を行うこととなっておりますのでよろしくお願いします。 それでは、事務局から説明をお願いします。
矢部政策調整課長	（同席している市職員を紹介） （資料１～５の説明） まず、評価の基準等を簡単にご説明申し上げまして、その後、第３次行政経営プランは、二つの視点、「協働力」の向上と「市役所力」の向上から構成されておりますので、二つの視点ごとに、皆様方からご意見等を頂戴できればと存じますのでよろしくお願いします。 （「視点１ 協働力の向上（総合評価を含む）」について説明）
石上会長（議長）	こちらにつきまして、ご不明な点、ご質問、ご意見ございますか。
柿沼委員	No.12 市長への手紙・メールへの適切な対応について、回答まで２週間見ており、「やや遅れている」の評価の理由として、担当部との調整が難しいようですが、これは以前から難しかった問題なのですか。 例えば、一回で完璧に回答するのではなく、一次回答、二次回答というようなやり方もあると思いますが、この点を伺います。 No.14 空家の対策・活用について、どのような対策をされているか伺います。 No.19 地域による防災体制の構築について、昨今の気象状況から地域に応じた自主防災訓練が必要と思いますが、自治協力団体とどのように連携しているか伺います。No.21 水害広域避難訓練の実施ともリンクしますが、安心安全に向けた訓練の状況を伺います。

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
石井総合政策部長	No.28 ごみの資源化・減量化の推進について、リサイクル率は全国4位という非常に好成績ですが、評価は「やや遅れている」となっています。どういう点が遅れているのか伺います。 No.29 周辺環境の美化活動について、住民を巻き込んだ地域づくりが重要と思います。 No.30 合併処理浄化槽の普及促進について、人口減少の中、下水道だけではなく、合併処理浄化槽をどう増やすかという問題がありますが、私が昨年に全国会議に出席したところ、合併処理浄化槽が進んでいる自治体は、維持管理のために少し補助金が出ているというものがあります。 設置については、一般家庭の場合、浄化槽の大きさを家の広さに応じて決められ、浄化槽法で検査や掃除をきめ細かく行わなければならず、年間10万円近く毎年の維持管理費が掛かるのですが、それに対して1万円程補助している自治体もあります。 おいしい米づくりのために水をきれいに保つという加須市のイメージアップにもなると思いますが、どのように考えられているか伺います。
	No.12 市長への手紙・メールの適切な対応について、評価が「やや遅れている」というものですが、特段の理由があるものではなく、評価のとおり回答に時間を要してしまっているものです。丁寧に回答することと、迅速に回答することの両方が重要と考えておりますので、丁寧さを保ちながら迅速に回答できるよう努めていきたいと思います。
矢部政策調整課長	No.14 空家の対策・活用については、空家等対策の推進に関する特別措置法の改正があり、所有者の責務の強化がなされているところでございます。 空家のままにしておく理由として、空家を取り壊すと固定資産税が増加することがございます。そのため、危険な空家が増えてしまう現状があるため、管理不全空家については、税制の特例を受けられないような形の改正にもなっています。

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
石井総合政策部長	本市の空家対策として、空家にさせないための周知啓発を行っています。また、空家になってしまったら、活用できる空家については、不動産協会等と協力して、空家バンクを含め、利活用していただく対策を行っております。 管理不全の空家となってしまった場合には、第一義的には、空家の所有者が改善をしなければなりませんので、通知等を行い対応を行っています。 No. 19 地域による防災体制の構築、No. 21 水害広域避難訓練の実施については、危機管理防災課が所管しており、自主防災訓練の開催状況につきましては、申し訳ございませんが後日回答させていただきます。また、担当課には、地域に応じた訓練が必要であるという柿沼委員のご意見を伝えさせていただきます。 本日、4名の自治協力団体の支部長がいらっしゃっておりますが、自治協力団体、市民の皆様のご協力があって組織が結成され、訓練が成り立っていることをこの場を借りて厚く御礼申し上げます。 No. 28 ごみの資源化・減量化の推進が「やや遅れている」理由ですが、ごみの資源化率は、全国5位以内をキープしており、トップレベルの自治体ではありますが、指標の目標値が40%とかなり高いものとなっており、この指標では「概ね達成」の評価となっております。 市民の意識が高いことや自治協力団体の皆様の努力によって、高い資源化率となっておりますが、ごみの排出量では、目標を達成しておらず、総合的に「やや遅れている」という評価となっております。 更にごみの排出量を減らしてくための取組として、食品ロスを削減する「食べきりかぞ」、減量化の意識向上の研修会、環境学習等の啓発活動を実施しています。 No. 30 合併処理浄化槽の普及の促進については、維持管理のための補助金の検討については、ご意見として承り、担当課である環境政策課に伝えたいと思います。
柿沼委員	(No. 14) 空家が増えて、アライグマやハクビシンの住処になっています。防災だけでなく、そういった視点からも対策をお願いします。 (No. 19、No. 21) 災害も水害と地震で対応が異なります。水害であ

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
内田市民協働推進課長	れば地域によってタイムラインが異なると思いますので、きめ細かく対策をお願いします。 No.35 まちづくり市民会議の推進について、一般市民はこれをよく知らないのではないのでしょうか。運営手法を変更し、年齢層を限定したとのことですが、変更内容と改善方法を詳しく伺います。 まちづくり市民会議は、以前は会議を開催しておりましたが、令和4年11月から「かぞのイトコ見つけ隊」という活動になりました。これは、現在9名が参加し、高校生から39歳までの方で、Instagramに加須のよいところを投稿する企画をやっています。実績は、その会議の参加者数です。 今後、「かぞのイトコ見つけ隊」の周知活動を行っていきたいと考えております。
柿沼委員	私たちは地元だからと当たり前にも思っているところもあると思います。それを若い人の視点で見つけた加須市のよいところを広報紙に是非載せていただいて、「かぞのイトコ見つけ隊」の広報活動にも繋がったらよいと思いますのでよろしくお願いします。
鈴木委員	No.28 ごみの資源化・減量化の推進について、私たちは集積所にごみを持っていきますが、若い方は、プラスチック、缶、びん、ペットボトル、段ボールなどをスーパーへ持っていきます。その場合、ごみの資源化の統計に反映されないのでしょうか。そのあたりをどのように考えているか伺います。
石井総合政策部長	鈴木委員のおっしゃるとおり、スーパーに持ち込んだ資源ごみは、市の資源化の実績には反映されません。ただ、リサイクルをする動きが、行政だけではなく、民間事業者に広がることは、残念ながら統計上の数値は下がりますが、市民が意識高くリサイクルをしていただくものなので、よいことと考えております。
島海委員	取組項目が昨年と同じですが、毎年問題、課題というのは変わるものと思います。従って、取組項目も目標達成して進行管理をしなくてもよいものと、新たに問題として取り組まなければならないという取

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
石井総合政策部長	組項目があると思いますが、そういった変更の考えがあるか伺います。 また、経営の視点から言うと、取組項目によって緊急性があるのか、ないのか。重要度が高いのか、低いのか。こういったことが判断材料になると思いますが、そういった区分けについて考えているのか伺います。 民間の視点からのご指摘ありがとうございます。 項目が毎年変わらないというのは、確かに世の中の考え方からして旧態依然としているということは、ご指摘のとおりだと思います。 この行政経営プランにつきましても、計画を立ててP D C Aサイクルで進行管理していくことをやってきました。行政経営プランではありませんが、昨年度策定しましたD X推進計画では、O O D Aループという、状況を判断して変えるものは的確に変えていくという考え方を取り入れた新しい計画もございます。 もう一点の緊急性、重要度についてですが、行政経営プランでは、そういった区分けはできておりません。この行政経営プランではありませんが、加須市総合振興計画では、重要度が高い指標についてはK P Iとして重要業績評価指標を掲げております。 いろいろな計画を改定するときは、鳥海委員の民間としてのご意見を取り入れ、検討させていただきたいと思います。
石上会長（議長）	確かに、1 3 4項目ありますが、今年度はこの取組項目が重要であるというものは、あってもよいと思います。 他になれば、先に進めさせていただきます。事務局より説明をお願いいたします。
矢部政策調整課長	(「視点2 市役所力の向上(総合評価を含む)」について説明)
石上会長（議長）	こちらにつきまして、ご不明な点、ご質問、ご意見ございますか。
柿沼委員	No.92 広告収入の確保について、「やや遅れている」となっておりますが、これに該当することではないのですが、ふるさと納税の状況について伺います。 加須市は魅力がいっぱいですので、拡大する余地は大分あると思

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
矢部政策調整課長	ます。 No.100 各種団体補助金等の見直しについて、「大幅に遅れている」ということですが、補助金を交付し、その活動を注視していると思いますので、それらを精査しながら、団体によって不公平にならないようにしていただければと思います。 No.111 自主研究グループの設置・活動の促進が「大幅に遅れている」、No.117 資格取得の支援が「大幅に遅れている」、No.119 心の健康づくり計画の推進が「やや遅れている」とありますが、職員がのびのび仕事できるような風通しの良い職場づくりを心掛けていただければと思います。これは希望ですが、その点も含め、No.111、No.117、No.119 の取組について、内容等を教えてください。 ふるさと納税についてですが、市外から応援されるまちということで、加須市は平成 30 年度と比較しますと、平成 30 年度は、350 件、約 770 万円、令和 5 年度は、約 29,000 件、約 3 億円で、寄附額でいうと約 39 倍に伸びています。 No.100 各種団体補助金等の見直しについて、補助金交付団体への統一的な対応が必要とは考えており、以前に策定した基本方針はございますが、補助金交付団体が多数あることから、なかなか検証やその先の作業まで進めていないのが現状です。 市民生活や行政運営への影響が大きいことから、慎重に検討しながら進めていきたいと考えております。
野原職員課主幹	No.111 自主研究グループの設置・活動の促進ですが、これは、3 人以上のグループで編成し、1 か月以上行った活動に対して、予算の範囲内で消耗品や講師謝金に使ったもので請求があったときに、その内容が認められる場合には、活動費を支払うというものです。 何処の課であっても本務が忙しいのではないかと感じっていますが、引き続き職員への周知を図っていきたいと思います。 No.117 資格取得の支援ですが、これは、各施設に必要な衛生管理者、安全衛生推進者、衛生推進者の資格を持っている人がいないときに資

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
柿沼委員	格取得のための研修や資格試験の支援の推進をしているものです。 令和５年度は資格取得が必要な施設が少なかったため、少なくなっています。 毎年度、人事異動によって施設毎に不足があれば、必要な分だけ研修への派遣と資格試験を行うので、年度によってばらつきがありますが、継続的に進めていきたいと思います。 No.119 心の健康づくり計画の推進ですが、１か月以上の病休・休職した職員の割合が令和４年度よりも下がってはいますが、仕事の量、職場の人間関係、家庭の問題で心が弱くなってきてしまう方がいますので、相談体制、職場の研修、職場環境のマネジメントを行っていき、職員が復帰した際に仕事がしやすい環境を進めていくように努めているものでございます。 職員は、市の大きな財産ですので、のびのび、はつらつと市民のために働いていただけるような環境づくりを是非進めていただければと思います。
植竹委員	No.65 マイナンバーカードの普及促進、No.66 マイナンバーカード・マイナンバーを利用したサービスの拡充について、一般的にはマイナンバーカードの普及が遅れており、保険証の利用と紐づけることが問題となっていると思います。 行政は対応できると思いますが、その行政の窓口を利用する市民が適応できなければ、行政の窓口の構えができていても、利用する人が増えません。 若い人はデジタル化に対応できると思いますが、高齢者の場合は、自分で対応するのが難しいです。そのあたりについて、市としてはどのように対応してくか、考えを伺います。
小野田DX推進課長	マイナンバーカードの普及を進めることが第一と考えておりますので、自分で市役所に行けない方、施設に入っている方には、市民課が出張を行って、マイナンバーカードの交付を行っています。 また、１２月２日から保険証の新規発行を行わないということで、国からアナウンスされていると思いますが、直ちに保険証が使えなくなるということではなく、有効期限までは現在の保険証は使えます。

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
植竹委員	それに加えて、資格確認書を交付し、マイナンバーカードの交付を受けていない方の保険証の代わりとなることと、マイナンバーカードと併用することで、マイナンバーカードが認証できないトラブルがあった場合、資格確認書によって対応することとなると思います。 この資格確認書は、現時点では有効期間は5年以内であると伺っております。 政府としてもマイナンバーカードを普及させて、保険証のような行政サービス機能を付けていくという方向性であると思います。しかし、マイナンバーカードを作らなくてもいいと先延ばしにしている市民もいると思います。 いずれマイナンバーカードの交付を受けなければならないのであれば、施設などの優先性のあるところに向いて取得を促すというのでは、そうではない多くの市民にどの程度普及が進むのか疑問が残ります。 是非、積極的に市民に情報発信していただきたい。そうでなければ、市民は、まだマイナンバーカードを取得しなくてもよいと思ってしまいます。情報発信について、検討し、その結果をお知らせいただければと思います。
石井総合政策部長	参考ですが、全国の市長にマイナンバーカードが賛成か反対かというアンケートがあったときに、加須市長は、全面的に賛成というわけではなく、政府が進めることは是としますが、問題が生じることはきちんと対応していただきたい。と回答しておりました。 植竹委員のご指摘のとおり、デジタル化についていけないような事情を持った方がいらっしゃる事実がありますので、国にもその対応を求めていますし、市としてできることは、いろいろな人からご意見をいただきながら考えていかなければと思います。
石上会長（議長）	その他、いかがでしょうか。 「市役所力」の向上に限らず、「協働力」の向上も含めまして何かご意見ございませんか。 では、ご意見がないようでごじますので以上で、（２）第３次加須市行政経営プラン５年度取り組み結果については質疑等を終了させて

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
矢部政策調整課長	いただきます。 ここで事務局から連絡事項があるようでございますのでお願いいたします。 ご意見の取り扱いについて説明します。 本日も協議をいただきました事項のご意見を取りまとめ、市長をはじめ、関係部署に報告させていただくとともに、改めて議事録と併せて回答させていただきたいと存じます。 また、議事録等を含めまして、ホームページ等で広く、このような意見交換の状況について、お知らせしていきたいと考えておりますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。
石上会長（議長）	それでは以上をもちまして本日予定された議事はすべて終了となりますが、何かご発言はございますか。 では委員の方々の活発なご意見を頂戴いたしまして、また長時間に渡りまして、誠にありがとうございました。
事務局(関根主査)	6 閉会
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。(注) 6 年 9 月 11 日 署名 <u>石上 泰州</u>	

(注) 特に署名を要しない審議会等については、事務局名を記入してください。